

立教大学校友会報

http://www.rikkyo.ac.jp/koyu/

年に一度は母校に帰ろう! 「立教」ならではの特別企画を準備中!

10月25日(日)はホームカミングデー (全校友対象) ホームカミングデー



ST. PAUL'S ALUMNI ダブルポール



発行所 立教大学校友会 〒171-8501 豊島区西池袋3-34-1 電話 03(3985)2634 発行人 江草 忠敬 編集人 石崎 孟

主なニュース

- 3面 校友会総会・定期代議員会開催される
4面 立教学院創立135周年記念行事
8面 地域立教会を訪ねて 第15回札幌立教会

今年で47回目を迎える「ホームカミングデー」校友の集い「大学・校友会共催」が池袋キャンパスにて行なわれます。

目玉の企画として、今秋から全国ロードショーが決定している、話題映画「風が強く吹いている」の先行上映を行ないます。他にも多彩な企画をご用意してお待ちしています。

卒業60周年(昭和24年卒)の集い、卒業50周年(昭和34年卒)の集い、卒業10周年(平成11年卒)の集いも同日に行なわれます。対象者には招待状を送付いたします。

(参加費はどの企画に参加しても無料です。当日のスケジュールなど企画の詳細は次号にてお知らせいたします。)

2009年秋全国ロードショー! 映画「風が強く吹いている」先行上映会

弱小陸上競技部が箱根駅伝を目指す! 映画「風が強く吹いている」監督 大森寿美男 出演 小出恵介 林遣都 配給 松竹(を全国公開に先駆けて校友の皆さまにお届けします。お楽しみに!)

他に、「オーブンマーケット」「大福引大会」「旧江戸川乱歩邸・土蔵の公開」「学生リレーコンサート」「キャンパスツアー」「縁日広場」などの多彩な企画を準備中! 詳細は、次号の会報でお知らせします。ぜひご予定ください。



▲卒業生のみなさんお帰りなさい



△毎年賑わうオープンマーケット

チャペル団体OB・OG会開催

学生時代、チャペル団体に関わったOB・OGの皆さん! また、チャペルで結婚式を挙げられた皆さん! 2009年度チャペル団体OB・OGの集い(礼拝が、ホームカミングデー当日である10月25日(日)午後3時からチャペルで開催されます。

当日キャンパスでは、午前中から様々な催し物が展開されており、恒例のホームカミングデー関係のプログラムです。また、チャペルでは9時から主日礼拝終了後、会衆主催によるバザーが開催され、豪華な景品が当たる福引が行われます。また、午

後1時30分からは、オーガニストギルド、ハンドベルクワイアや聖歌隊の学生たちによる演奏がチャペルにて行われます。どうぞOB・OGの皆さんにおかれましては、友人やご家族と各種プログラムを楽しんだ後、午後3時からチャペル団体OB・OGの集い(礼拝、会葬者への祈り)にご参加ください。そして、現在のチャペル団体の活動と、大きく変貌した母校のキャンパスをお楽しみ下さい。なお、当日の礼拝での献金は、現役の活動のために寄付されます。

「集い」に関するお問い合わせはチャペレン室(03・3985・2698)までご連絡下さい。(担当 松島)

プログラムに関するお問合せ・申込みは校友会事務局まで 03・3985・2634 03・3985・3434 koyu@grp.rikkyo.ac.jp



△会報委員会ではやまそばを販売

今年の春先から梅雨入りにかけて、都内・近郊のいくつかの大学を訪れる機会があった。総合大学や単科大学、文系・理系大学、都心のど真ん中のキャンパスや電車に揺られていく郊外のキャンパス。こじんまりとした校舎や広大な敷地に点在する校舎や、実にいろいろな大学があるものだと思わされた。様々な顔を持つキャンパスにそれぞれの学生の顔。我々の頃とは違い、どの学生も皆おしゃべりで、また、様にのんびりした雰囲気がある。少しばかりほっとした。学生気分を忘れて就活に忙しく大変な思いをしている学生諸君はそこにはいなかったのだらう。景気が低迷し苦勞している学生もいると聞いた。そんなキャンパスにとっても貪欲に取り組む姿勢の学生を見た。なんとく違いを感じながら話しかけて聞いて気がついた。留学生である。それこそこの世界不況の中、まさに苦学生がいるに違いない。報道などで知るところの生活の厳しさが感じられない明るさが、キャンパスの中の彼らにはあった。立教も多くの留学生を迎えている。彼らのための奨学金もある。異国の地、その国の文化や社会の多様性を学び、未来を築く。大いに国際交流を重ね、出会いと新しい生き方・スタイルを発見し次世代を築いてもらいたいものである。我々の日頃の生活の中にも、この思いは生かしたいものである。留学はできなくとも、人との出会いを増やし、新たに接し触れたものに敏感に反応し、新しい生き方やスタイルにチャレンジしていく思いを持ち続けたい。一歩どこかへ踏み込めば、新しく見えてくるものがあるはず。(水野敦彦 54法)

時計台 (Clock Tower image)